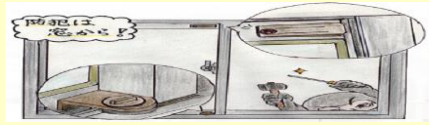
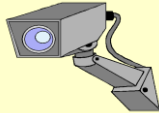
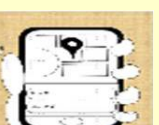
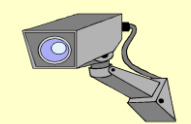
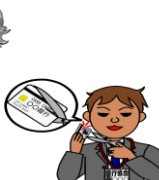


稲沢市内における身近な事件の発生状況

令和7年8月末時点（暫定値）

稲沢警察署 0587-32-0110

事件（被害）内容	発生件数（前年同月比）	犯行の手口	防犯対策例
①住宅等に侵入される被害  	76件（+32）	 23件が空き巣被害 - 侵入場所（住宅対象）の約6割が「窓」  「空き巣」とは、家人等が不在の住宅に侵入し、金品を窃取する犯行手口です。	  C P マークのついた窓ガラスの導入や、窓ガラスに補助錠を設置するなどして家屋の防犯性能を向上 
②車載品の盗難被害  	25件（+7）	 約8割が無施錠での被害  車内に置かれた金品等を犯人は狙っています。	    車内に金品を置いて離れない 防犯ブザーの設置、防カメ等設置の駐車場への駐車 
③車両部品の盗難被害  	17件（+2）	 8月中、ナンバープレートが被害  盗まれたナンバーは別の犯行に使用される可能性があります。	  ナンバープレート盗難防止ネジの取付け、交換後のタイヤ等は施錠設備のある倉庫等に保管 
④自動車の盗難被害  	22件（+9）	 8月中、ランクル1台が被害（未遂）  県下では、ランクル（プラド含む）、プリウス、アルファード等が多く被害に遭っています。	   純正+αのセキュリティを複数対策（ハンドルロック、GPS等の追跡装置、イモビの追加） 
⑤自転車の盗難被害  	111件（-18）	 7月中、18件の被害のうち約6割が無施錠  約5割が駐輪場の被害、自宅や店舗駐輪場等においても被害が発生しています。	   自宅でも施錠、ソーロックの実施、防犯カメラが設置されている駐輪場等を利用 
⑥振り込め等の特殊詐欺   	16件（+2） （令和6年発生総数20件） （令和5年発生総数16件） （令和4年発生総数7件）	 警察官を騙る人物に、現金を振り込まれる詐欺被害が発生  息子を騙る手口、キャッシュカードを受け取りに来る手口、還付金名目など様々な手口に注意	   留守番電話設定の活用、防犯機能付電話の設置（詐欺の約8割が自宅固定電話への架電） 

備考1：令和6年の稲沢署管内刑法犯総認知件数826件（-49）、備考2：令和7年8月末時点の刑法犯総認知件数566件（+44）

過去5年間の交通事故分析結果



令和2年～令和6年までのデータに基づく、交通事故分析システムによる分析結果です。

分析結果

- ・人身事故は南大通り周辺で多発
- ・死亡事故は市内全域で発生
- ・死者の約7割が高齢者
- ・死亡事故の約7割が交差点で発生



令和7年の発生状況

8月末時点（ ）内は前年同月比

		稲沢署管内	
		月間	年間
人身 (人)	死亡	0 (±0)	1 (-1)
	重傷	3 (+1)	16 (+7)
	軽傷	18 (-12)	266 (+65)
	合計	21 (-11)	283 (+71)
物損 (件)		337 (-14)	2549 (+53)

備考 令和6年の稲沢署管内の死亡事故者数2名

人身事故多発時間



- ・ 7時～8時
- ・ 17時～18時



人身事故多発地域



枠内



死亡事故発生場所



印地点

事故防止のポイント



【ドライバー】

- ・ 早めのライト点灯、ハイビームの活用
- ・ 「かもしれない」運転の心掛け



【自転車】

- ・ 一時停止、安全確認の徹底
- ・ ヘルメットの着用



【歩行者】

- ・ 無理な横断をしない
- ・ 明るい服装、反射材の活用



交通違反を犯さないことが、交通事故の防止につながります。



横断歩行者妨害



一時不停止



信号無視



自転車の違反

